

施設カルテ

施設番号: 535

施設名: 弓道場・アーチェリー場

施設の概要	所在地	大字鶴見3801番地の20				運営形態	指定管理者					
	所属課	スポーツ推進課				年間運営日数(日)	365.00					
	利用圏域	市域				運営時間※1	開館	09:00	閉館	22:00		
	コミュニティ区分	北部				運営人員(人)※2	正職員		任用職員			
	施設用途	スポーツ・レクリエーション系施設					その他					
	中分類	スポーツ施設				指定管理者・委託者等	別府市弓道会					
	設置目的	市民の健康増進並びに競技力向上の場を提供するとともにスポーツ観光に寄与することを目的として設置				防災拠点施設指定	指定なし					
						最寄りの類似施設	施設名		距離(m)			
	設置条例	別府市営体育施設の設置及び管理に関する条例				外観						
	施設の現況	開設年月日:H4.9.1/主な利用者:市民/用途地域:第一種低層住居専用地域/標高:103.3/駐車可能台数:21/AEDあり										
	建設費(円)	124,000,000										
	取得価額等(円)	124,000,000										
補助金額(円)												
減価償却累計額(円)	122,760,000											
老朽化比率	99.00%											
施設概要	危険区域等の有無:噴火(鶴見岳)(加藍岳) 避難所の指定:無											
土地情報	敷地面積(m ²)	4,131.00										
	所有区分	公有										
建物状況	名称	構造	階数	建築面積(m ²)	延床面積(m ²)	建築年月日	法定耐用年数	老朽化状況※3	新耐震基準※4	耐震化状況	バリアフリー状況	
	別府市営弓道場・アーチェリー場	鉄骨造	1		656.00	1992/08/24(築30年)	31	老朽化が進行している	○		一部対応している	
スペース構成の状況	名称	利用料収入(円/年)	延床面積(m ²)	年間利用者数(人/年)	利用目的別 利用者内訳(人/年)					利用状況	稼働率(%)	備考
					主催事業	サークル	地域利用	官庁利用	一般利用			

※1: 24時間の場合は0:00~23:59と表記している
 ※2: 業務時間の割合で按分を行った場合は、小数点で表示している
 ※3: 稼働年数が耐用年数の
 1/3未満 : 問題なし
 1/3以上2/3未満: 老朽化対策の検討が必要
 2/3以上 : 老朽化が進行している
 ※4: 1981年6月1日以降に建築確認を受けたものを○とする

施設カルテ

施設番号: 535

施設名: 弓道場・アーチェリー場

収入の状況		項目	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	利用状況		項目	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)
収入	収入	施設使用料収入	186,000	194,000	275,718	利用者	利用者	7,396	7,550	9,569	
		財産貸付料収入・目的外使用料収入	0	0	0						
		負担金	0	0	0						
		その他の収入	0	0	0						
収入合計 (円)			186,000	194,000	275,718	年間利用者数 (人)			7,396	7,550	9,569
支出の状況	支出	直営 人に係る支出	人件費	0	0	0	収支と利用者数の推移				
		直営 施設に係る支出	光熱水費	0	0	0		<p>レーダーチャート</p>			
			工事請負費・修繕料	574,000	2,246,000	663,300					
			土地・建物の賃借料	0	0	0					
			土地・建物以外のリース料	0	0	0					
			施設・設備管理委託料	27,000	27,000	90,000					
		直営 事業運営に係る支出	施設に係るその他	0	0	0					
			事業委託費	0	0	0					
		事業物件費 (需用費・役務費等)	0	0	0						
		事業運営に係るその他	0	0	0						
		指定管理料	指定管理料	0	0	0					
		支出合計 (円)			601,000	2,273,000			753,300	<p>老化状況についての判断方法</p> <p>建物状況の老化状況により点数の決定を行い、平均値を施設の得点とする。(小数点以下四捨五入) 『問題なし:3点』 『老化対策の検討が必要:2点』 『老化が進行している:1点』 『未登録:0点』</p> <p>耐震化状況についての判断方法</p> <p>新耐震基準が「〇」の場合は3点とし、それ以外の場合は建物状況の耐震化状況により点数の決定を行い、平均値を施設の得点とする。(小数点以下四捨五入) 『耐震化状況 実施済:3点』 『耐震化対策中:2点』 『耐震化対策が必要:1点』 『未登録:0点』</p> <p>バリアフリー状況についての判断方法</p> <p>建物状況のバリアフリー状況により点数の決定を行い、平均値を施設の得点とする。(小数点以下四捨五入) 『全対応:3点』 『一部対応:2点』 『未対応:1点』 『未登録:0点』</p> <p>避難所指定についての判断方法</p> <p>避難所指定の建物がある場合は3点とし、ない場合は1点とする。</p> <p>最寄りの類似施設の有無についての判断方法</p> <p>最寄りの類似施設がない場合は3点とし、ある場合は1点とする。</p>	
利用者1人あたりのコスト(円/人)		81	301	79							
1㎡あたりのコスト(円/㎡)		916	3,465	1,148							
稼働日あたりのコスト(円/日)		1,693	6,745	2,064							
支出に対する収入の割合		30.95%	8.53%	36.60%							
減価償却費(円)		4,092,000	4,092,000	4,092,000							
減価償却費を含む支出合計(円)		4,693,000	6,365,000	4,845,300							
減価償却費を含む支出に対する収入の割合		3.96%	3.05%	5.69%							